

会議名 第3回学校運営協議会 議事録

場 所 大阪府立すながわ高等支援学校2階会議室

日 時 令和4年2月2日（水） 10:00~12:00

目 的 学校運営協議会は、保護者等との連携協力、学校運営の方針についての協議及び承認、保護者等の意向の反映のために設置する、大阪府教育庁の附属機関である。

次 第 (1) 校長挨拶

(2) ○協議

「令和3年度学校経営計画について（自己評価）」

- ・学校教育自己診断について
- ・授業アンケート集計結果について

「令和4年度学校経営計画について（案）」

意見交換 まとめ

(3) 校長挨拶

学校運営協議会	会長	大阪府教育センター 教育庁ハートフルオフィス	山内 國嗣 様
	副会長	株式会社カネシン オートボックス	辻 昭宏 様
	委員	泉州中障害者就業・生活支援センター	斉喜 祐輔 様
	委員	株式会社サクセス 自立支援推進室長	河本 妙子 様
	委員	泉南市 総合政策部 危機管理課	木津西 博 様
	委員	すながわ高等支援学校PTA会長	高橋 美穂 様
	校長	すながわ高等支援学校校長	土口 千恵子
		すながわ高等支援学校事務局	6名

会議内容

要約 令和3年度学校経営計画の自己評価について確認されたこと及び、令和4年度学校経営計画（案）について、各立場から実りのある意見交換がなされた。

協議テーマについてのご質問・ご意見

- 学校教育自己診断については、生徒、保護者、教員のアンケートの回答が肯定的であった。3者に良い関係が、評価にも連動している。自分たちも職場の中でも参考にしたい、取り組んでいきたいと感想をいただいた。また、記述形式での意見については、「社会に出るとよくあること。そういう経験も必要である。」とご意見をいただいた。全体的に高い評価をいただいているが、その中でも肯定的な評価が70%台の項目については、今後も検討していく必要があるとご意見をいただいた。
- 授業アンケートについては、「授業評価なのか、教員の評価なのかがわかりにくいところがある。満足度は高いが、その中に含まれる課題は今後の検討の余地がある。」とご意見をいただいた。客観的な評価としては全授業でアンケートを取る必要があるのではないかというご意見もいただいた。
- 「令和4年度学校経営計画について（案）」では、1人1台端末の活用促進にむけたアクションプランステップ2では、教員のスキルアップの必要性が重要であるとご意見をいただいた。企業でもオンラインを活用しているので、在学中にICT機器に触れる機会があるのは大切なことであるとご意見をいただいた。また学校環境作りの一環として、防災教育、人権教育の実施についても確認することができた。生徒一人ひとりにあった進路実現については、就労率にとらわれず、生徒の希望する進路実現に向けて取り組んでいくことで確認し共有することができた。以上の件をふまえ、令和4年度学校経営計画案について、協議会委員の方々よりご承認いただいた。

次回開催日 令和4年6月予定

作成者 大阪府立すながわ高等支援学校 首席 後藤 禎行（令和4年2月4日作成）